

保 育 かな が わ

発行所

横浜市神奈川区沢渡
4の2

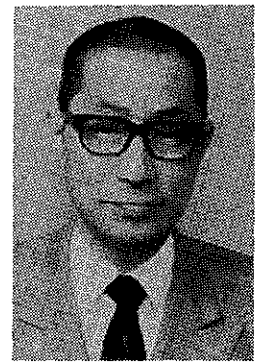
神奈川県保育会

発行人

鈴木 萬 吏

題字

故 内山岩太郎 筆



今日的課題への対応

神奈川県保育会会長 鈴木 萬 吏

間もなく今期の任期が満了いたします。この文章をお読みいただく頃には新しい執行部での神奈川県保育会がスタートしているかも知れません。先ず第一に会員の皆様方の御理解御協力に心から感謝申しあげるものであります。お蔭様で関プロ大会も盛況裡に開催することができました。県保育会の運営も委員の先生方の各専門部に分れての会務の執行によって活性化が著しく進展しました。本当に心から感謝申しあげます。

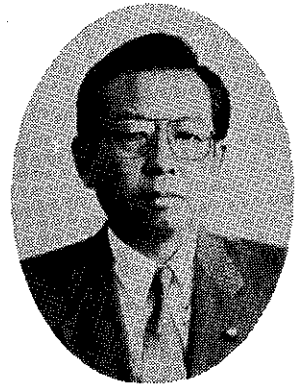
さて好景気による影響は各界に求人難をひきおこしています。保育所とも同様で、十数年前に各地に求人キャラバンをくり出すことになり県もこれに補助金を交付して下さったあの頃を思い出して

います。あの頃は地方にいけばまだまだ人材はありましたが今では日本中どこもかしこも人手不足です。かつての保育の修学資金の制度の復活を期待していましたが保育に限らず福祉全体の人材確保の為の方策を県当局の支持の下で県社協で考える組織が平成二年度には設けられ研究協議することになっていきます。ともあれ実習生を受け入れたら保育の素晴しさを十分に体験してもらおうように各園ごとに努力すべきと考えます。他方何時までも今のような経済的成長が続くものでもなくもし政情不安などになればたちまちに不況が到来しその結果インフレという事態になると円のバラマキだけで国際社会をまかり通っている我国では国際的孤立という悪の三点セットに苛まれることになりましょう。

平成二年度の政府予算案に盛り

込まれたものも予算が成立してくれない限り絵に描いた餅です。又今のように地方の財政負担が大きくなるという厚生省が旗を振り笛を吹いても市町村が実施してくれないければどうにもなりません。地域ごとに保育所が無くてはならない存在となるよう努力を重ねていくことが必要なのです。

県保育会の事業の中でこれからは是非共やっていたきたいのが、結婚等によって退職した優秀な保育の再確保のことです。家庭での子育て専業、妻専業の経験のある保育こそが家庭に代わるといふ機能をもっている保育所にとって大切な人達なのです。最初はパートでもよいからその持てる能力を地域の保育所で発揮していただきたいのです。園長先生方の積極的なご支援でシステムをつくりあげたいと思います。子ども達の為に



保 育 独 白

神奈川県児童福祉課長 田栗 輝明

児童福祉行政に携わる者として、今年度は「保育元年」と位置づけた。国の施策、県の事業をみていただければ、それに相応しい面が相当程度表われていると思う。

しかしながら、それでも、従来の保育事業のフレームから若干踏み出した程度であった。

平成二年度は、大きく視点を変え、あるいは発想を転換して、「保育」を「保育所」を真剣に考える年となるであろう。

二十一世紀の社会が快適なものになるかどうかは、この九十年代の動向にかかっているとよく言われることである。高齢社会とは高齢者比率が高い社会であるが、逆に子供の比率が低い社会である。

健全に育てられた子供が多勢いれば、いろんな意味でバランスがとれた住み良い社会であるはずである。

この一兩年、悲しい事件が起きるたびに、世の中がどこかおかしいと思ってしまう。何故だろう。どうもその要因は「普通に生れた子どもが普通に育てられていない」からと思えてならない。今の子どもは大人には分からないストレスを抱えている。一昔前なら、世の中の自然の流れと自らの動きでこれを解消してきた。現代の情報化社会ではそれもできなくなった。この、口に出さない「子ども」の悩みを解消してあげるのが我々大人の最大の責務であろう。

大きくは地球規模から小さくは人間の身体に至るまで、バランスが崩れたときに欠陥が露呈する。

二十一世紀で心配しなければならぬのはその点である。

前述の視点を変わるとか発想を転換するという意味は、単に縦横からみたものを斜めからみるということではなく、こういうことを指しているのである。

そこで保育所の、換言すれば保育者の役割が出てくるのである。

各種の福祉施設の中で保育所は最も小地域に最も多数配置されている施設である、ということ、今や「子育て」は地域全体で責任をもって行う必要がある、ということとの関連で考えれば、その役割は何であるか、答は自明であろう。要するに、施設及び施設職員の社会化が迫られているということである。

県が六十二年度から事業化し、国が平成二年度から事業化を予定し

ている「地域育児（保育）センタ―事業」が名実共に機能すること、が地域住民から期待されている。

今や、いわゆる保育ニーズの多様化に対応した特別保育の実施はもとより、この住民（正確には悩める子ども）の期待にこたえるべく積極的な保育所運営が求められるのである。この活動がスムーズに行えるための環境整備がこれからの保育行政の課題であり責務であると考えている。

施設の整備、職員の資質の向上、子育てのための地域資源のシステム化等々である。

平成二年度は、保育所保育指針の改定も予定されており、それに伴う各種の制度改正も予想されるが、保育所とその職員を中心とした「地域における子育て」の課題に全力投球をしたいと考えている。感性豊かな子どもを福祉を願う仕事には感性をもって当たりたいたいものである。保育界の皆様のご活躍を祈ってやまない。

第二十三回神奈川県保育事業大会 盛大に開催。関プロに照準!!

第二十三回神奈川県保育事業大会が県保母会・県社協保育分科会との共催、神奈川県と神奈川県民間保育園協会の後援により去る五月二十日(土)に行われた。

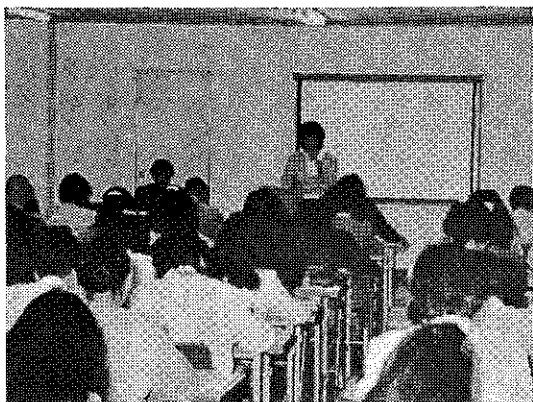
午前中は例年通り式典と総会が行われた。式典には県福祉部長、県議会副議長はじめ多数の来賓をお迎えして盛大かつ厳粛に挙行された。永年勤続被表彰者は百十六名に達した。(公立八十六名、民間三十名。)

総会は例年通り事業計画案と予算案をご審議いただき原案通りご承認いただき、平成元年度の事業が正式にスタートすることになった。

午後からはいつもと大きく変わり、七月の関プロ大会を睨み、そのリハーサルを兼ねミニ関プロ的に運営された。四会場にわかれ、一会場で三テーマの発表という方式で合計十二のテーマについての研究発表が行われた。一テーマ当りの持ち時間は質疑を含み約一時間とし運営は関プロ実行委員会決定している各市郡の係の方が発表だけでなく議長・幹事・同補佐・記録などを分担して関プロ大会さながらの運営・進行と思われた。

参加者も多く活気に満ち熱気あふれる雰囲気であった。やゝ会場が

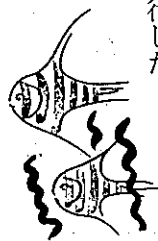
狭くて入れないところもあったりして、急拠椅子を入れるなど係員の方々は苦勞した。二つの会場でビデオ又はプロジェクターや録音再生機が利用されたが、支障なく運営された。



主任保母研修会報告
日時 平成元年十一月七、八日
場所 ホテル観山(湯河原町)
平成元年度主任保母研修会が、県下の主任保母五十余名を集めて開催された。

長谷川研修部長の主催者挨拶に始まり、草山総務副部長の「各種通知に見る保育の考え方」、渡辺副会長による玄人はだしの「腹話術」が演じられた。後半は、女性問題評論家熊丸良子氏の「最近の親子・家庭関係」と題した講演で、「女らしさ」と言われるものの中味についての興味深い話が、参加者との対話をまじえて進められた。
楽しくも充実した夕食時の懇親会で一日目は閉じられた。

二日目は、四グループに分れての研究討議に、参加者は主任という立場の重さを再確認したようだ。本研修会のしめくりとして、富田副会長の「カニ」と「エビ」についての教養講座に参加者一同聞き入っていた。



ハワイアンムードの中で

89「保母の日前夜祭」

華やかに開催



平成元年十二月一日、東急ホテルに於いて恒例の保母の日前夜祭が行われました。今年もハワイアンバンドの生演奏を聞きながら、ゆったりとディーナを楽しもうという趣向で各自の席が用意されました。厚生大臣表彰受賞者の糸野仔至子、橋川芳子両先生と県保母賞受賞者の小島雅子、羽田瑞枝、正岡弘子、矢崎文字諸先生方の功勞をねぎらって主催者側より鈴木萬史

会長挨拶に始まり、児童福祉審議会委員三谷光雄様、県児童福祉課長田栗輝明様他関係諸団体代表の方々のお祝いの言葉がありました。熟年バンドマンの演奏する往年の名曲に青春のひとつときを回想される方や、宴たけなわになるにしたがい、あちこちの席で旧交を暖めあう場面も見られ、始終なごやかなうちに閉会となりました。



一月十六日県立県政総合センターで行われた調理担当者の研修は百三十名を超えるほどの盛況であった。主催者挨拶のあと、憐エル・サンコーの野村、池田両氏による「手作りおやつあれこれ」がテーマでお菓子六種類、他の実演が行われ、会場の都合上オーブンで焼く事が出来なかったので前日焼いて持参したお菓子を参加者が試食し午前を終り、午後はバネルデイスカッション「子どもと給食」をテーマに酒井先生の司会で諸先生がそれぞれの立場からお話があった。

調理員研修

ひまわり保育園園長 高橋 六郎氏

(2) 調理に自信を持ち子ども達の食べる姿を見て仕事への喜びを感じていただきたい。
(3) 「どう、おいしかった」と子ども達の声を聞いて下さい。

ひまわり保育園園長 高橋 六郎氏
園長先生の立場から
(1) 給食と保育は車の両輪であり、決して保育が優先するものではないと力説された。

給食の良さと大切さ
最近の家庭の食事は、好きな物やわらかいもの、甘すぎる物が多く色々のデータから、あまり良い評価をうけていません。子どもなのにコルステロール値が多いなどという話もききます。

保育係ではその改善のため、バランスのとれた給食をまづ心掛けていきます。みんなで食べる楽しさ食事のマナーも学ばれます。
しかし栄養士さんがせっかく立てくれた献立も、偏食や骨のある



魚はいや酢の物はダメ、又かめない、飲みこめない、意欲がないなど保育の現場は苦慮している時間でもあります。その為、調理の方々に食べ易い調理の仕方を工夫していただき、子どもの状態に合せた調理を研究していただいたりして、給食がこどもの発達に望ましいものになるよう努力しています。それも徐々に改善され、子ども達も育つ健康で明るいみんなと遊べる子供になってます。先に高橋園長先生が申されたように保育と給食は両輪だと思えます。がんばっ

ていきたいと思えます。

小田原愛児園栄養士 望月 園氏

給食がいかに子ども達にとって大切か。
入所初めての時、母親を求めて大泣きしている子に離乳食を一口与えると泣き止む、食べることで保育者との信頼関係ができてくる。

まだことばをはなせない子が陳列ケースに指を差し、「今日これを食べたよ。」と表現で母親に知らせる。給食室からおいしい匂いがただよってくると、楽しさ一杯、調理する人をお母さんと思う。乳児園、保育園だから職員を更に子どもを育てる大事な担手としての誇りをもって業務に励んで頂きたいと思えます。

善行乳児保育園調理員 河原 頼子氏

離乳食について
(1) 離乳食はA食からD食までの四段階に分け調理している。

「A」生後六ヶ月 練り状態

「B」七ヶ月～八ヶ月 みじん切り
「C」九ヶ月～十ヶ月 荒みじん切り
「D」十一ヶ月～十二ヶ月 荒みじん切り及び完了食として普通食を作るが固い物は刻んでいる。

「寝ている子」
(1) 起きた事を担任から連絡を受け離乳食を作る。
(2) 適温給食を調理の基本として乳児(未満児)でも温い物、冷い物のおいしい味を心がけている。

「2才児～3才児」
(1) やはり適温給食を基に散歩から帰ってくる時間を見計って揚物をしたり盛りつけをする

「気をつける事」
(1) 刻みの心くばり
(2) 週2回～3回クラスに入っ

子ども達の食事具合を見て。
食事の中から子ども達との触れ合いを大切にしています。

仙石原保育園調理員 氏家 静江氏

「行事食について(前年の例から)

月	行事食名
四月	お花見野外弁当
五月	お楽しみ子どもの日のメニュー
六月	父兄の試食会
七月	七夕ソーめん
八月	焼き焼きパーティー
九月	お好みライスパーティー
十月	お月見パーティー
十一月	お楽しみレストラン風で
十二月	クリスマスパーティー
一月	お別れバイキング
三月	子ども懐石料理

(1) 食べるマナーを知らせる
(2) 楽しく夢のある給食の場を作るようにする

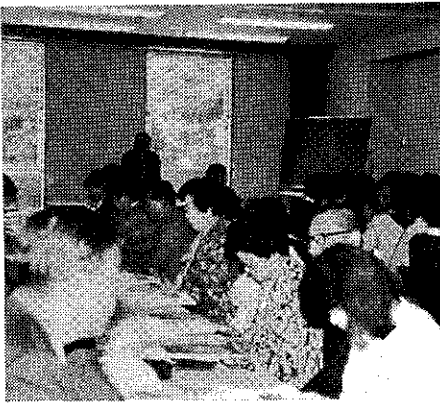
(3) 子ども達の好きな味、おいしい味を作る為に努力をしていきたい。(心身の発達に必要な栄養ある給食)

今回のデスカッションは初めてであり、本論にいくまで時間が、かかったように思います。次回はもっとたくさん給食にかかわる方々の発表があれば保育所の給食も大きく発展すると思えます。お互いに研修の心もち給食に当たりたいと思えます。

園長 研修

年度末も迫っている三月十三日(火)園長としての資質を高め子どもをめぐる世の中の動向を見極める為、古代よりの歴史の地「大磯」において、戦後日本社会の出発点となった政治・福祉の原点を探る趣旨の研修会が開催された。

この園長研修会は保育会が部制をしいて以来好評で当日は好天に恵まれて絶好の研修日和だった。研修コースはエリザベスサンダースホーム旧吉田邸県立城山公園。昼食をさみ伊勢原市の日向薬師



の見学コースで距離的にも丁度よいし大磯町の坂田吉徳民生部長さん自ら全コースガイドを勤めて下さりそのお骨折りとご好意には感謝せずにはいられなかった。大磯と聞けば「海水浴」のイメージが強いのですがいろいろ見ていく中に大磯には秘められた歴史とロマンを感じ近くても知らない所がまだまだたくさんあるのだと今更乍ら参加して日頃見られない所を見学出来て

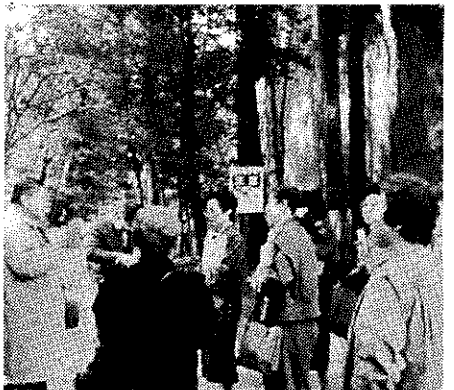
幸運だった。エリザベスのホームでは広いのに驚き小室徳夫園長の概要説明の中でも一人に対し百坪となるが、掃除も一人で百坪をやるような計算ですよ。(一同うなる)又創設者の澤田美喜園長はハートで仕事をしてきた人だともいわれ私達はサンダースホームと聞くと外人の子が殆んどというイメージが強いが現在では外人の子は2/100であった。在籍児童は小学校高学年以上の児童が半数をしめていた。現在は家庭崩壊の子どもが多いとの事だった。ホームに入所してくる

子は定着率高く中で働く職員の方々もキャリアのある方が多いとの事だった。城山公園はもとより旧吉田邸といいここ大磯では美しい富士をどこからでも見ることが出来、南にはキラキラ輝やく海を眺め最高な気分だった。或る園長が「今日は幸福」と目を細めていられたのが印象的だった。

最後に伊勢原の日向薬師へと移動した。ここは階段が多く、はじめは登れるか…と不安だったが先を見ず足元だけを見つめてとうとう登りきった。健康にもこの位はよかったのかも知れない。薬師如来は素朴な感じを受けじつと見つめるとすばらしい姿をしておられ心が洗われる思いがした。終って渡辺副会長よりさし入れのおまんじゅうがひときわおいしく皆さんに今日の感想を一言聞いて見た。

。先づ企画がよかったですね。めったに行けない旧吉田邸が見学出来て最高。

。仕事を離れて視野を広めるには参加してよかった。好天に恵まれたこと日向薬師の階段はやゝきついけど健康の為に思ってたがよかった。今日の研修はヒットだった。とても楽しい研修だった仏像は好きだし説明やしおりをみて、いい勉強になった。コースにゆとりがあってよかった等々の御意見が多く又一方ではもう少しサンダースホームに時間をかけてもよかったのでは。来年もこのような企画を楽しみにしていますとの声でした。



県保育会関連

各種事業案内

○第二十四回神奈川県保育事業大会(開催予定)

期日 平成二年五月十九日(出)
会場 神奈川県社会福祉会館
日程 第一部 式典

第二部 研究討議

なお、研究討議は、平成二年度全国共通研究テーマにより、第一会場「地域福祉と保育所のあるあり方」・第二会場「保育所における家庭子育て援助体制」・第三会場「子どもと食事」が内容。

日程 第一日目 開会式・総会

基調講演ほか

第二日目 分科会

第三日目 研究発表・記念講演・閉会式

宿泊場所 大洗町内

参加費 七、〇〇〇円

○第三十四回全国保育研究大会

期日 平成二年十一月二十日(火)
会場 福岡県北九州市

平成二年度全国共通研究テーマ

主題 子どもたちの現在(いま)と未来(あす)を育むために

——保育所が創造する地域社会の子育て——

会の子育て——

第1分科会 地域福祉と保育所のあり方

第2分科会 児童福祉推進をはかる法人運営と機能強化

第3分科会 児童福祉推進をはかる公立保育所の機能強化

第4分科会 保育ニーズの多様化へ対応する勤務形態と労働条件

件

第5分科会 保育所における家庭子育て援助体制

第6分科会 子どものための保育条件のあり方

第7分科会 子どもの主体的活動をひきだす環境

第8分科会 共感と思いやりを育てる人間関係

第9分科会 子どもにとってのあそびの役割を考える

——3歳未満児——

第10分科会 子どもにとってのあそびの役割を考える

——3歳以上児——

第11分科会 子どもと生活のあり方

第12分科会 子どもと食生活

県保育会からのお願い

最近、臨時及びパート保育士はおりか、年度末の新卒保育士採用はままならない状況です。これに對

応し、昨年初め、県保育会は、「有用保育士登録制度」を発足させました。

これは、「保育所運営に必須の臨時及びパート職員を確保すると共に、在宅の人材を広く児童福祉の向上に生かしてもらうため、保育所退職者等のうちから有能な保育士を県保育会に登録する。さらに、この登録者に関する情報を提供して会員保育所の利便をはかる」ものです。

そして、この制度を真に価値あるものとしてご利用いただくには、皆様のご協力が不可欠です。登録や紹介業務は事務局で行ないます。是非とも多くの登録をお願いします。申し上げます。

「西暦二〇〇〇年代の保育所を考える会」

保育所を取り囲む状況は、激動を始めております。これからの保育所はどうなるのか。加入の問合せは保育会事務局まで。

研究大会

期日 平成二年七月四日(水)～六

日(金)

会場 全体会 水戸・茨城県民

文化センター他

分科会 大洗・大洗町文

化センター他

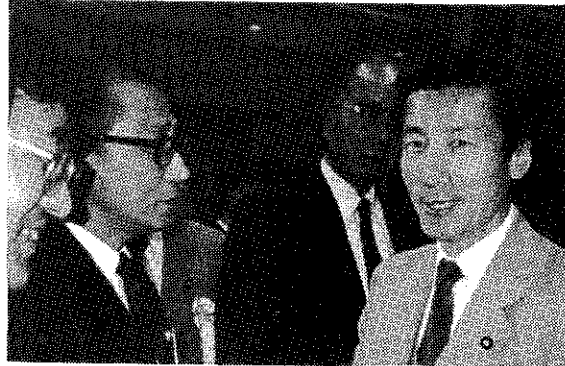
予対活動報告

12月5・6の両日「全国保育組
織正副会長会議」及び「保育予算
確保全国代表者集会」が虎の門東
京会館を中心に行なわれました。

午前中に厚生省母子福祉課長
(代理)が出席され、平成2年度
予算に対する取組みについて講演
があり、午後からは「保育予算確
保全国代表者集会」が開かれ各都
道府県別に各々の選挙区毎に保育
関係議員を議員会館内事務所に訪
問し保育関係予算の満額確保に向
けて協力を要請しました。

神奈川では、県保育会・横浜・
川崎市並びに各保母会の代表も加
わって地元選出の衆参議員に対し
陳情を行ないました。各議員は国
会活動中で直接本人に面会できな
い方が多かったが我々の意図する
ところはこの陳情書の通りである
ので是非実現出来る様に御尽力い
ただきたいとお願いして来ました。
途中事務所へ戻られる途中の斉

藤文夫参議員議員にお会いし「保
育関係者の要望は充分理解して居
る老人と保育は車の両輪で共に進
めて行かなくてはならない問題で
あるので実現へ向けて努力を続け
ます」と決意を示されたのが参加



「前厚相 小泉先生と談笑する鈴木会長」

者一同に本当に力強いはげましと
なった。

次いで夕方から会場を移し保育
関係議員との懇談会が持たれ、昼
間お目にかかれなかった各議員も
出席されご本人に直接お願いする

機会が持てたことは何より効果を
挙げる事ができたことと思いま
す。

6日は前日と同じ会場で各地の
保育問題と運動の展望についてブ
ロック別に報告があり調査研究、
公立保育所に関する調査結果の中
間報告がなされ散会しました。

おめでとうございます

△平成元年中に本会関係者で大臣
表彰以上の榮譽を受けた方々。
勲六等单光旭日章

荻窪保育園理事長 大井諦玄様
厚生大臣表彰

遠藤保育園長 桑野仔至子様
春光保育園 橋川 芳子様

△ご冥福をお祈りいたします

石塚保育園前園長 石塚昭次様
平成二年二月十五日逝去

あとがき

うらかな春の芽ぶきは新鮮な
気分させられます。

平成元年は関ブロ大会の当番県
で組織で仕事をなしたげた年でし
た。編集や校正等「保育かながわ」
のお手伝いのできたことも勉強に
なりました。 富米野知子

保育を取り巻く組織は様々にあ
ります。公私立が一緒に、さらに
園長会・保母会が地域を越えて結
びあい、多くの議論を通し保育の
向上に努めるこの会、心の触れあ
いを大切にする保育会こそ充実に
て欲しいと感じます。 岩沢貞吉

情報化時代と言えば、す速く広
く資料を集収し、己が勝つため生
き残るための競争かと考えていま
した。こゝに來て保育界の情報を
正しく知り自己をリフレッシュし
知性と情操を高めることこそ真の
意義と悟りました。 小島淑栄